

わたしたちの 働きかた 2018

働き方改革通信
平成30年11月20日

発行：長野県教育委員会
(義務教育課)

働き方改革をテーマに、県P連教育懇談会 子どもたちのための改革を

県下の郡市PTA代表者ととも原山教育長を交えた県PTA連合会の教育懇談会が、11月13日に「子どもたちのための教職員の働き方改革」を懇談テーマの1つにして開催されました。親の立場、教師の立場から、率直な疑問、たくさんのアイデアが出されました。そのいくつかをご紹介します。



先生は、どんな働き方をしてるの？

- ◇ 協力したいが、何に困っているのか分からない
- ◇ 先生の勤務時間が5時までで、部活動は善意で行っているんだと意識していない保護者も意外と多い
- ◇ すべてを抱え込みがちな教員の意識改革、ビルド&ビルドの学校の体質改善も同時に必要
- ◇ 現場の先生の本音を聞きたい
- ◇ リーフレットや働き方改革通信は、情報共有の手段として効果あり

夏休みを延ばして、何をするの？

- ◇ すべての子どもに、自然や地域、世界とつながる質の高い学び体験を提供する「信州サマープログラム」を構想
- ◇ 学校以外の学びの場、大人たちの主体的なかかわりを期待

世の中へのアピール

- ◇ 未来の子どもを育てるという目的は、学校も教委もPTAも、みな同じ
- ◇ 社会貢献の一つにPTA活動があることをアピールすることが大切

専門スタッフの「活用のしかた」に注目

- ◇ スクール・サポート・スタッフ配置の「18 学級以上」のハードルを下げて、むしろ人手の少ない小規模校に配置できないか？
- ◇ 地域ボランティアのしきみを生かし、増員を希望
- ◇ 活用方法の工夫や事務の簡素化も工夫改善が必要

会の最後、内田副会長のご挨拶に、次のようなお話がありました。

「子どもは、先生を通して大人や社会を見ている。先生は鑑となれるよう、誇り、やりがいとともに、心身の健康、幅広い経験が必要。そのために、働き方を見直し、魅力的で持続可能な学校にしていきたい」

PTAの皆様も学校の働き方改革に関心を寄せ、子どもたちのための改革となることを願い、応援してくださっています。



「学校閉庁日」来年からの ネーミング募集中！

- ◆ 12月16日(日) 〆切
- ◆ 応募先 義務教育課カイカク係
- ◆ 詳細は、本紙10月17日号をご覧ください